

【教育研究部】職員研修：教材を見合う研修

8月26日に教材見合い研修を実施しました。小学部・中学部・高等部のそれぞれの教室に、各学級や学年で活用している教材を展示し、参加者は学年ごとにまとまって各エリアを順番に巡りました。研修では、実際に教材を手にとって試しながら、その工夫や活用方法について学び、感じたことや参考になった点を教材ごとの紹介シートに記入して共有しました。展示された教材は、先生方が児童生徒一人一人の実態や学習課題に合わせて時間をかけて工夫し、愛情を込めて作成したものばかりでした。教科学習や個別課題、日常生活の指導など、さまざまな場面で活用されている教材を見学することで、それぞれの実践や指導の工夫について理解を深めることができました。

また、教材を通して児童生徒の実態や学習の様子を知ることができ、多くの気づきや学びを得る機会となりましたさらに、学年ごとに一緒に見学したことで、「自分たちの学年ではどのように活用できるか」「どのような児童生徒に合いそうか」などについて自然と話し合うことができ、学年内での情報共有や教材活用のアイデアを広げることにもつながりました。加えて、小学部・中学部・高等部の教員同士が学部を越えて教材を紹介し合うことで、各学部の学習内容や指導方法への理解が深まり、交流を促進する貴重な機会となりました。今回の研修を通して、多くの教材の工夫や実践に触れたことで新たな視点や刺激を得ることができ、今後の授業づくりや教材研究への意欲を高める有意義な時間となりました。教職員同士が互いの実践を認め合い、学び合うことで、よりよい教育活動につながる充実した研修となりました。

